

② ページの内容をご確認頂き、アンケートにお答えください

世帯配布のアンケートは、各世帯1部の送付としております。さらにご協力頂ける場合は、お手数ですが**アンケート票をお近くの市町村役場などにも設置しておりますので、そちらをご利用頂くか、インターネットからの回答も可能**となっております。

■問1 国道101号をどのくらいの頻度で利用しますか？
※1つ選ぶ

1. 毎日
2. 週に数回程度
3. 月に数回程度
4. ほとんど利用しない
5. 利用したことがない

■問4 問3でチェックした項目について、今後具体的なルートを検討する際に配慮すべき事項があれば、具体的にお聞かせください。

※回答欄にご記入ください。

■問2 国道101号の主な利用目的は何ですか？
※複数回答可

1. 通勤・通学
2. 通院
3. 家事・買物
4. 業務(営業・運送等)
5. 観光・レジャー
6. その他

■問5 インターチェンジなどの連絡位置を計画する際、どのようなことに配慮すべきと思いますか？

※回答欄にご記入ください。

■問3 今回、複数のルート案を検討していますが、地域にとって望ましい案を選ぶ際に重視すべき項目はどれだと思われますか？
※3つまで回答可

1. 救急病院に早く行けること
2. 冬の地吹雪や堆雪による影響を受けにくいこと
3. 地域間を結び目的地に早く行けること
4. 通行止めになった時でも代替路を確保できること
5. 交通事故が少なく安全に走行できること
6. 沿道家屋への影響が少ないこと
7. 自然環境への影響が少ないこと
8. 完成したところから順次通行でき、早期に効果が望めること
9. 工事に伴う規制の影響が少ないこと
10. 整備費用が安いこと
11. その他

■問6 これまでの質問以外に、ご意見がありましたらお聞かせください。

※回答欄にご記入ください。

◆返信方法 ※下記のいずれかで返信してください。
①お近くの郵便ポストに投函してください。 ◆締切 平成27年11月9日までにお願いします。
②青森河川国道事務所、青森県庁、西北地域県民局、西北地域の各市町村役場並びに支所、道の駅(もりた・つるた・なみおか・ふくらう)、海の駅(わんど)等の回収ボックスに投函してください。

ご協力ありがとうございました

④

回答用はがきの記入例

【表】

郵便はがき
料金受取人払郵便
0308790 228
1257 青森県青森市中央三丁目20番38号
国土交通省 東北地方整備局 青森河川国道事務所 行
平成27年12月31日までに切手不要

ご協力をお願いいたします。

あなたについてお聞かせください。

年齢 10代 20代 30代 40代
50代 60代 70代以上

職業 会社員・公務員・自営業・農業者 学生・主婦 その他 性別 男 女

住所 { 青森 } 郡・市・町・村 { 秋田県 } 郡・市・町・村 { 岩手県 } 郡・市・町・村 { 山形県 } 郡・市・町・村 { 福島県 } 郡・市・町・村

住所 五所川原市 地区名 { } 村 木造 森田 稲垣 つがる市 地区名 { } 村 木造 森田 稲垣

運転免許 あり なし

※個人情報を照会なく第三者に開示・提供することはありません。
(法令により開示を要する場合は開示をさせていただきます。)

・□にはレ点をご記入ください。
・当てはまる項目を○で囲ってください。
・その他を選択した場合は[]内にご記入ください。

【裏】

アンケート回答欄

問1	<input checked="" type="checkbox"/> 1	<input type="checkbox"/> 2	<input type="checkbox"/> 3	<input type="checkbox"/> 4	<input type="checkbox"/> 5
問2	<input checked="" type="checkbox"/> 1	<input type="checkbox"/> 2	<input type="checkbox"/> 3	<input checked="" type="checkbox"/> 4	<input type="checkbox"/> 5
問3	<input type="checkbox"/> 1	<input checked="" type="checkbox"/> 2	<input checked="" type="checkbox"/> 3	<input type="checkbox"/> 4	<input checked="" type="checkbox"/> 5
問4	<input type="checkbox"/> 11 []				
問5	[]				
問6	[]				

◆ご協力ありがとうございました。

・□にはレ点をご記入ください。
・その他を選択した場合は[]内に詳細をご記入ください。

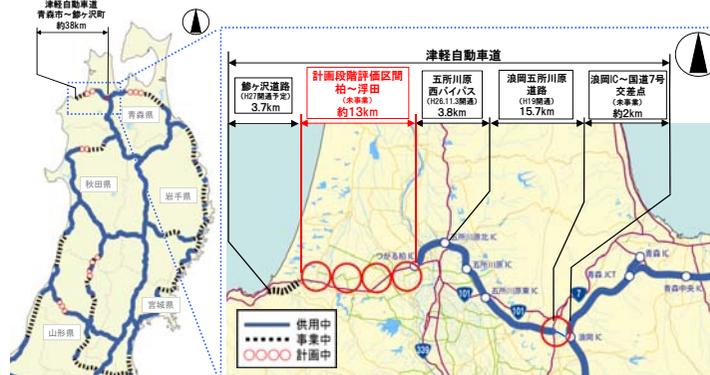
◆ご自由にご意見をお書きください。

津軽自動車道(柏～浮田)の計画検討に関するアンケート(第2回)

参考資料5

津軽自動車道は、東北縦貫自動車道の浪岡ICから五所川原市を通過し、日本海沿岸地域までを結ぶ計画延長約38kmの高規格幹線道路です。

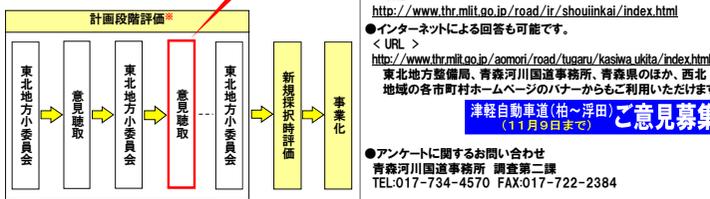
本調査は、未事業化区間である柏～浮田間の道路整備の計画検討にあたり、本道路が広域ネットワークを形成しつつ、地域の皆様にも便利で安心できる道路になるよう、対策案(概ねのルート帯案)を検討していく上での重視すべき項目等についてご意見をお伺いする調査です。ご協力をよろしくお願いいたします。



※本調査で頂いた皆様からのご意見は、計画段階評価*における地域からの意見として「社会資本整備審議会道路分科会東北地方小委員会」に報告いたします。

計画段階評価の流れ

今回のアンケートはここです。



※計画段階評価の詳細情報や東北地方小委員会の資料等は国土交通省東北地方整備局ホームページでご覧いただけます。

< URL >
<http://www.thr.mlit.go.jp/road/ir/shoujinkai/index.html>

●インターネットによる回答も可能です。

< URL >
<http://www.thr.mlit.go.jp/aomori/road/tuguru/kaswa/ukita/index.html>

東北地方整備局、青森河川国道事務所、青森県のほか、西北地域の各市町村ホームページのバナーからもご利用いただけます。

津軽自動車道(柏～浮田)ご意見募集
(11月9日まで)

●アンケートに関するお問い合わせ
青森河川国道事務所 調査第二課
TEL:017-734-4570 FAX:017-722-2384

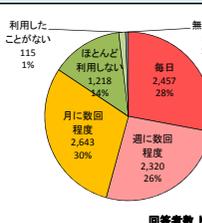
国土交通省 東北地方整備局青森河川国道事務所
青森県・五所川原市・つがる市・鰯ヶ沢町

⑤

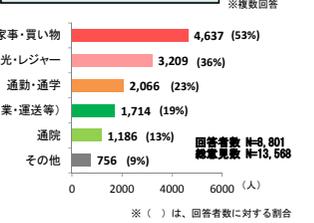
①

第1回意見聴取の結果

国道101号の利用頻度



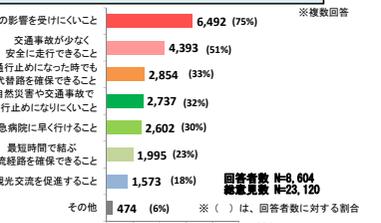
国道101号の利用目的



国道101号の課題の把握



当該地域の道路に求める機能の把握



津軽自動車道(柏～浮田)における概ねのルート帯案

項目	自動車専用道路 (サービス速度80km/h)		一般道路 (サービス速度60km/h)	
	【案①】全線新設案 (約12km)	【案②】新設+現道改良案 (約13km)	【案③】全線現道改良案 (約13km)	【案④】全線現道改良案 (約13km)
構造	全線で新たな自動車専用道路を整備する案 盛土を主体とした道路構造	沿道施設等が多く交通量が多い区間は新たな自動車専用道路を整備し、沿道が水田部の区間は現道を改良する案 全線で盛土を主体とした道路構造だが、現道改良区間は主要な道路との交差点は平面交差点構造	全線で現道を改良する案 市街地区間は道幅を拡幅し、他の区間は盛土を主体とした道路構造で、主要な道路との交差点は平面交差点構造	全線で現道を改良する案 市街地区間は道幅を拡幅し、他の区間は盛土を主体とした道路構造で、主要な道路との交差点は平面交差点構造
ポイント				
整備イメージ				
評価項目				
項目	指標			
政策目標	医療施設への運送性向上	医療施設への搬送時間の短縮や安定性 ・搬送時間が 短縮される ・搬送時間が 安定する	新設区間では搬送時間が 短縮され、安定する 現道改良区間では搬送時間の短縮や安定が それほど見込めない	・搬送時間の短縮や安定が それほど見込めない
	冬期交通環境の改善	堆雪や地吹雪等による速度低下 ・必要な車道幅員を確保できるため、 速度が向上する ・盛土主体で、風向きに対する道路方向が改善されるため、視界不良の 改善が見込める	・必要な車道幅員を確保できるため、 速度が向上する ・盛土主体であるが、現道改良区間で道路方向が改善されないため、視界不良の改善が それほど見込めない	・必要な車道幅員を確保できるため、 速度が向上する ・盛土主体であるが、道路方向が改善されないため、視界不良の改善が それほど見込めない
	地域振興の支援	地域間の移動時間短縮 ・対象地域から周辺地域等への移動時間が 短縮される	・新設区間の移動時間は 短縮される が、現道改良区間では 時間短縮が小さい	・移動時間の短縮が 小さい
	信頼性の高い道路ネットワークの確保	事故・災害に強い道路の確保 ・新設道路の整備により、通行止め時の代替路が 確保される	・新設区間は通行止め時の代替路が 確保される が、現道改良区間は 確保されない	・通行止め時の代替路が 確保されない ・若木川冠想定浸水区域が 一部覆蓋
	安全な走行空間の確保	交通事故の発生リスク ・沿道出入箇所や交差点が無いため、事故の発生リスクが 減少する	・沿道出入箇所や交差点が減少し、事故の発生リスクが 減少する	・沿道出入箇所や交差点が減少し、事故の発生リスクが 減少する
	生活環境	沿道家屋等への影響 ・集落等を極力回避するため、 影響は小さい	・現道改良区間で集落等を通過するため、沿道家屋等への 影響がある	・集落等を通過し、現道沿いを改善するため、沿道家屋等への 影響が大い
	自然環境	自然環境の改変 ・田園地帯の改変が比較的 大きくなる可能性がある	・田園地帯の改変が、新設区間で比較的 大きくなる可能性がある	・田園地帯の改変の可能性が、比較的 小さい
	早期開通による効果の発現	開通効果の発現時期 ・インターチェンジ間が完成しないと開通できないため、効果発現には 一定の期間を要する	・新設区間では、効果発現には 一定の期間を要する ・現道改良区間では、完成したところから開通できるため、 効果発現が比較的早い	・完成したところから開通できるため、 効果発現が比較的早い
	工事の影響	現道交通への影響 ・現道での通行規制が少ないため、 影響が小さい	・現道改良区間で改良に伴い通行規制が発生するため、 影響がある	・現道の改良に伴い通行規制が発生するため、 影響が大い
	コスト	整備に関する費用	約330～380億円	約300～350億円

津軽自動車道(柏～浮田)における概ねのルート帯案

